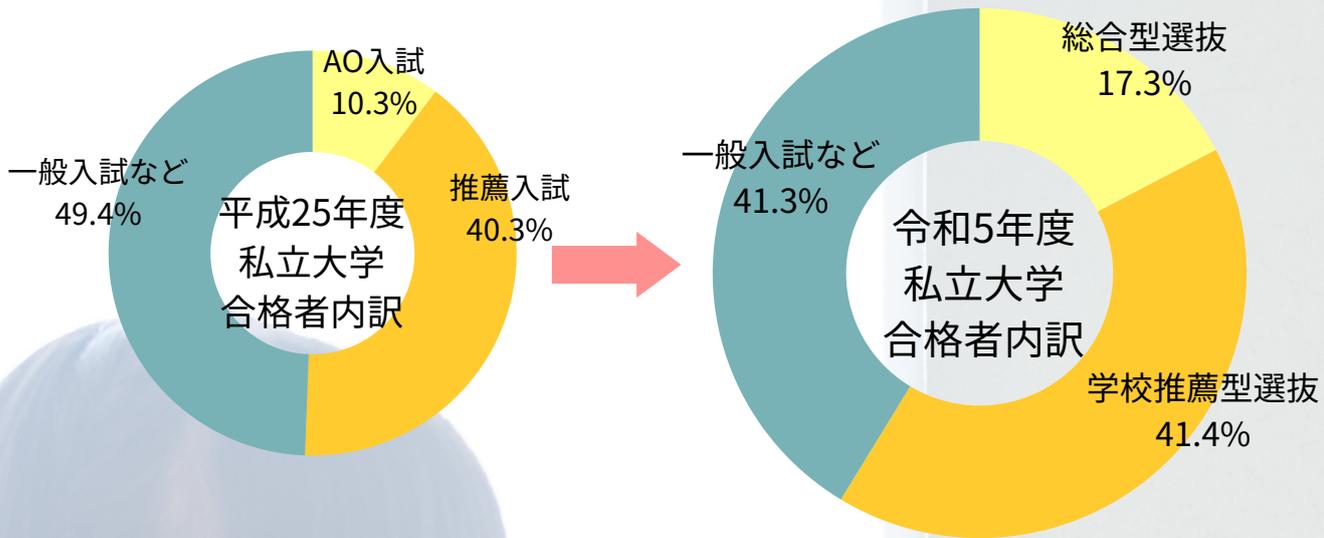


高1の1学期がキミの将来を決める!!

～私大では年内入試での合格者が半数以上に～



私立大学では年内入試の合格者が半数を超える!!

【大学入試-出願区分と傾向】

□私立大は合格者の半数以上を年内入試組が占める。この傾向は今後も継続すると思われる。
年内入試は主に以下の3つに分けられる。

○学校推薦型選抜-指定校推薦

→大学が指定した高校の生徒にのみ出願資格がある。ひとつの高校から推薦できる人数は限られており、希望者が多い場合は校内選考で選抜。**選考では評定平均といわれる3年間の成績、課外活動実績、生活態度などを総合的に判断する。**

○学校推薦型選抜-公募推薦

→高校の校長からの推薦が得られれば誰でも受験できる推薦入試。
評定平均が基準を上回らないと出願することができない。

○総合型選抜

→書類審査と詳細な面接などを組み合わせて総合的に合否を判定。書類審査はあくまでも選考方法のひとつだが、一部の大学では、**受験資格として評定平均が設けられており、これを満たしていないと受験資格を得ることができない。**

□国立大でも後期日程の廃止と縮小に対し、学校推薦型&総合型の導入と拡大の流れ。
学校推薦型・総合型→前期日程の併願パターンが浸透。



大学進学を考えるのであれば高校1年生の1学期からコツコツ内申を取ることを意識した勉強をしていくようにしましょう。

**学校進度に合わせた授業＋評定対策なら
ATOM高校部がオススメ!!**